

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

平成30年 9月25日 (火)

### 2 確認箇所

既設多核種除去設備

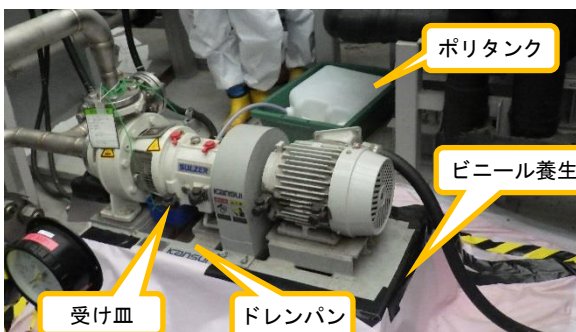
### 3 確認項目

既設多核種除去設備 B系における漏えい事象の対応状況

### 4 確認結果の概要

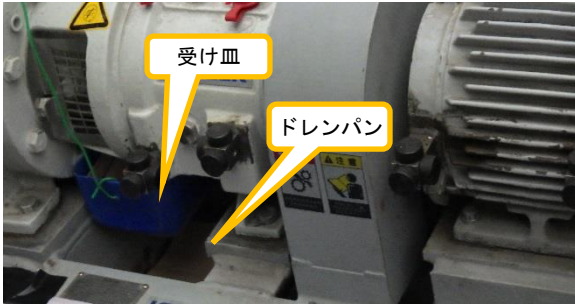
平成30年9月21日に、既設多核種除去設備 B系において、前処理設備の供給ポンプ 1 Bから系統水（処理過程の水）が漏えいする事象が発生したことから、その後の対応状況を確認した。なお、漏えいした水は供給ポンプ下部のドレンパン内に留まり、ドレンパン外への流出はなかった。

- ・ドレンパン内の漏えい水は既に拭き取られており、当該ポンプの周囲はビニールで養生され、ポンプ下部にプラスチック製の受け皿とポリタンクが設置されていた。ドレンパンや受け皿等に溜まり水は確認されなかった。（写真1）
- ・現場確認時には、既設多核種除去設備 B系を稼働させ、漏えい事象の再現試験を行っていたが、見ていた限りでは、当該ポンプや配管からの水漏れは確認されなかった。
- ・東京電力によると、漏えいが発生した9月21日に、当該ポンプの軸部に、にじみが確認されたことから、メカニカルシールからの漏えいと推定しており、今後、メカニカルシールを交換するとのことであった。
- ・なお、A系及びC系の供給ポンプ 1には、漏えいした形跡は確認されなかった。（写真2）

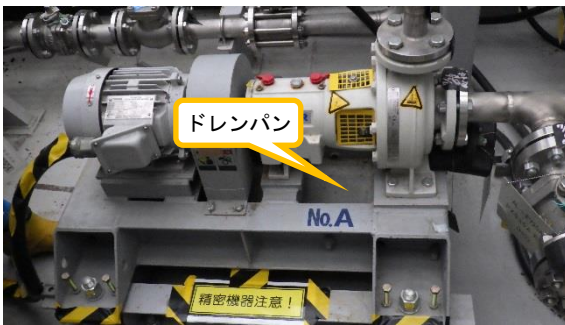


(写真1-1)

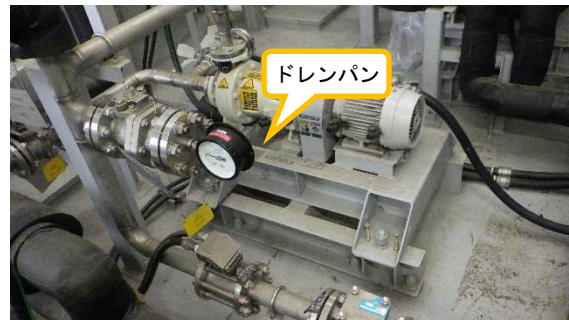
供給ポンプ1Bの状況①



(写真 1 - 2)  
供給ポンプ 1 B の状況②



(写真 2 - 1)  
供給ポンプ 1 A の状況



(写真 2 - 2)  
供給ポンプ 1 C の状況

## 5 プラント関連パラメータ等の確認

以下の特記事項以外の各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。

- ・ 2号機原子炉格納容器ガス管理設備の核種分析装置A系が点検停止のため、A系の原子炉格納容器放射能濃度が欠測。